

平成20年5月28日

**子どもたちに水問題の大切さを伝える副読本『水のパイオニアⅢ—水と緑とわたしたち—』を発刊
—大学院生による、ESD（持続発展教育）用の地域に根ざした教材完成—**

この取り組みは、水問題を切り口としたESD（持続発展教育）のための地域に根ざした副読本づくりです。2006年度から継続しており、今まで『水のパイオニアⅠ—香川・日本・世界—』、『水のパイオニアⅡ—ふるさと香川から未来へのねがいをこめて—』を発刊してきました。

この度中国とベトナムからの留学生も副読本づくりに参加し、『水のパイオニアⅢ—水と緑とわたしたち—』を発刊しました。同副読本は、森林と水との関係を中心に据え、中国産の割り箸を糸口にした中国の森林破壊と自然災害の問題から、ベトナムの違法伐採の問題へ、四国の水涸れの問題へ、さらにウォータービジネスの問題へと子どもを誘う構成となっています。

中国からの留学生が割り箸の授業をして使えることを確認した内容を盛り込んだり、現場の先生に文章表現等の助言を受けたりと、使える副読本を目指しました。教育現場で活用いただければ幸いです。

1. 活用方法

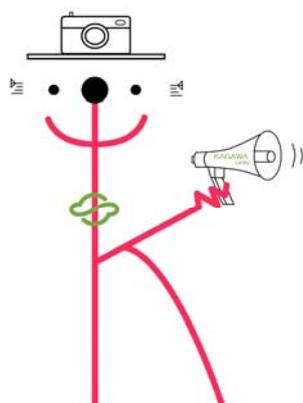
水問題を切り口にしてESD（持続発展教育）そのものを扱う場合は勿論、総合的な学習の時間における環境学習や小学校5年生の社会科の国土の保全学習や中学校の国土学習、高等学校現代社会や地理のグローバルな問題などに役立ちます。また、読み物としては活用可能です。

2. 特徴

- ① 全国的にも珍しい大学院生による副読本の作成であり、継続しての発刊です。
- ② 香川県の地域問題である水問題が、グローバルな問題でもあることに気付かせる構成となっています。
- ③ 新しい学習指導要領にも導入され、今後確実に現場に実践が求められるESD（持続発展教育）のための子ども向けの教材です。
- ④ 大学院生による副読本の作成の取り組みは、鳴門教育大学、兵庫教育大学での学会で発表し、好評を得たものです。
- ⑤ 副読本作成プロジェクトは、今、大学の教員養成に求められている教師になるための力量（教材開発力、授業構成力等）を形成する試みです。
- ⑥ 副読本作成プロジェクトは、今、話題となっている教師教育における著作権教育の視点があります。

3. 発行部数 1,000冊

4. 編集・発行 香川大学教育学研究科社会科教育専修生による香川県探検・発見・HOT県（ほっとけん）隊
※県内の希望する学校や教員には無料配布いたします。それ以外は要相談。問い合わせは下記まで。

**➤ 問い合わせ先**

香川大学教育学部 社会科教育研究室 伊藤 裕康
TEL&FAX 087-832-1072（研究室）
E-mail : hitou@ed.kagawa-u.ac.jp